

# 37.ケガニ

主な漁業と漁期  
かにかご：1月下旬～4月



## 釧路東部海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

水深150m以浅の海域に広く分布しています。移動に関する知見はありませんが、標識放流により東西方向への移動がみられ、大型個体ほど移動範囲が大きく、一部釧路西部海域や根室海域との交流があると考えられています。

#### ◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は10～翌3月で、抱卵期間は1～1.5年で、幼生ふ化期は1年以上経過した4月頃です。
- ◎産卵場：不明ですが、メスの抱卵個体は釧路海域に多く分布しています。
- ◎産卵生態：交尾・産卵はメスの脱皮に合わせ2～3年ごとに行われます。メスは産卵後、受精卵を自分の腹肢に付着させ、幼生がふ化するまで保護します。

#### ◆成長・成熟

	甲長(mm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
2歳	46	43	53	44
3歳	59	53	116	88
4歳	71		209	
5・6歳	84		356	
7・8歳	98		580	

\* ) 阿部(1982)、Abe(1992)、三原ら(2016)、美坂・石田(2015)、森ら(1991)より

#### ◎成熟年齢・甲長

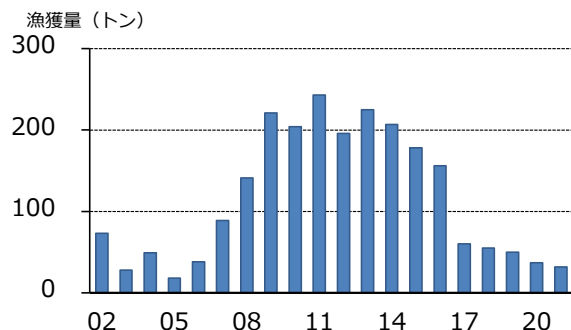
- ・オス：2歳、甲長46mm前後から成熟する個体がみられます。
- ・メス：2歳、甲長43mm前後から成熟を開始し、甲長60～65mm以上で半数以上の個体が成熟します。

### 資源評価

[評価年] 1月～12月

[資源水準の指標] 資源調査による資源量指数

漁獲量は2009～2016年に156～243トンの高い水準で推移しましたが、2017年度以降は60トン未満の低い水準にあり、2021年度の漁獲量は32トンで前年より減少しました。2021年度の資源水準は低水準で、翌年にかけての資源動向は横ばいと判断されました。漁獲努力量は漁獲が大きく減少した2017年度以降も高いまま推移していましたが、2021年度は荒天等の影響で減少しました。漁獲努力量を抑制する方策などを検討する必要があります。



2021年度  
の水準



低水準

2022年度  
の動向

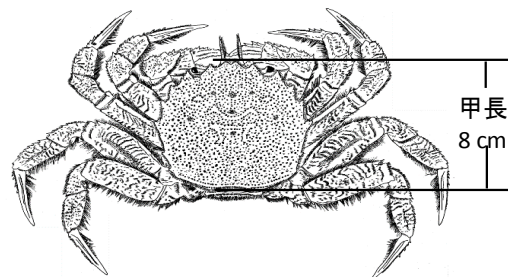


横ばい

### 資源の維持・増大のために！

#### 資源管理の現状(主なもの)

- 北海道漁業調整規則  
メス、および甲長8cm未満のオスの採捕が禁止されています。
- 許可の制限条件等  
許可隻数、操業期間、かご数・目合の制限をしています。また、毎年の資源評価に基づき、許容漁獲量を定めています。



☆現状の措置を遵守するとともに、資源動向に注意し、資源状態に見合った利用を図る必要があります。また、密漁対策の継続が必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 釧路水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
電話 0154-23-6222